

ひらど

書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの新刊

『元力士櫻流絶品ちゃんこ』
著／櫻正行
出版社／池田書店

「ちゃんこ」とは力士が作る、食べる料理すべてを指します。ちゃんこ鍋や一品料理のレシピも番付形式で紹介しています。力士が食べているものと同じ味を、ご家庭でもお楽しみください。



『神さまショッピング』
著／角田光代
出版社／新潮社

誰にも言えないこの願いは、どこに行けば叶うのだろう。神さまに救われたいと願う彼女らの願いは果たして。スリランカ、ミャンマー、香港、京都…私のための神さまを探す8つの物語です。



『ウマになれたらしいのにな』
さく／ソフィー・ブラックホール
やく／山口文生
出版社／評論社
大好きなウマになれば、こんなことしてみたい…子どもたちの夢が絵本になりました。午年だけに「ウマ」が変わった気分で楽しめるかもしれませんよ。

『玉三郎の「風を得て」』

著／真山仁
出版社／文藝春秋

稀代の女形、五代目坂東玉三郎とは何者なのか。芸養子として歌舞伎界に入った玉三郎を小説形式で描いた第一部「秘すれば花」と、玉三郎の哲学と美学に迫る第二部「その風を得て」。読み応えある1冊です。



『楽しくボカボカおふろの入りかたずかん』

①おうちでおふろのキホン
監修／早坂信哉
文・絵／天野勢津子
出版社／汐文社

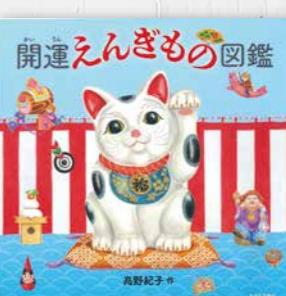
心も体も元気になるお風呂の入り方をマスターして、寒い季節を乗り切ろう！おうちでお風呂に上手に入るための準備や、楽しくてためになる情報満載の本です。



『開運えんぎもの図鑑』

作／高野紀子
出版社／あすなろ書房

お節料理に七福神、十二支など、全部で250種類の縁起もののを子どもたちにわかりやすく紹介した図鑑。日本の伝統を知って、新年を楽しんでみませんか？



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会（おはなしのへや）	毎週日曜 午後2時～
	赤ちゃんおはなし会（おはなしのへや）	14日（水）午前10時30分～
	「みんなdeシネマ」（未来創造館ホール） 『20歳のソウル』（日本：137分）	17日（土）・22日（木） 午後2時～
	ライブラリーコンサート（平戸図書館） ■今月は「微笑まりさんのピアノ演奏」です。 併せて「図書館エッセイコンテスト表彰式」を開催します。	24日（土） 午後7時～
	おはなし会（永田記念図書館）※随時変更することあります。 脳トレ教室（永田記念図書館）	10日（土）・17日（土）・24日（土）・31日（土）午後2時～ 5日（月） 午前10時～

今月の休館日 平戸図書館：年末年始28日（日）～1月3日（土）蔵書点検 1月26日（月）～2月6日（金）
永田記念図書館：年末年始28日（日）～1月3日（土）・6日（火）・13日（火）・20日（火）・25日（日）・27日（火）

各図書館・図書室連絡先

平戸図書館	☎22-4017
永田記念図書館	☎22-9182
南部公民館図書室	☎22-9191
生月図書室	☎22-9202
田平町中央公民館図書室	☎22-9211
大島村公民館図書室	☎55-2511

図書館ホームページ

<http://www.hirado-lib.jp>
スマートフォンなどから二次元コードを読み込んで簡単にアクセスできます。



まち協トピックス イベント情報などをピックアップ

まち協の取り組みにご注目ください！

問 企画課地域振興班 ☎22-9105

◆ひらど♡ときめき海鮮婚

とき 2月7日（土）午前10時30分～午後2時30分

ところ 元漁師食堂母々の手（主師町白石漁港）

世界遺産を望む絶景の地で、新鮮な海鮮を味わいながら、30～40代の独身男女が自然体で会えるランチ婚イベントを開催します。1対1トークや生月島観光など、リラックスした雰囲気の中で交流を深められる1日です。

新鮮な海鮮丼を楽しみながら、新しいご縁を見つけてみませんか？

○対象者 ▶30～45歳の独身男性（平戸市在住）

▶30～40歳の独身女性（長崎県在住） ※男女とも婚歴を問いません。

○参加費 男性4,000円、女性3,500円 ※女性のみ友割ありで、各500円引き

○定員 各20人 ※最小催行人数は各5人

○募集期限 1月22日（木） ○申込方法 右の二次元コードから申し込み

※男性参加者は午前10時までに元漁師食堂母々の手へお集まりください。

※平戸市外からの女性参加者は無料送迎バスがあるので午前9時までに佐世保駅へ、

現地集合の人は午前10時30分までに元漁師食堂母々の手へお集まりください。

NPO法人 山田・館浦地区まちづくり運営協議会めぐり逢い専門部「ファーストステップ」 ☎53-1550



※掲載しているイベントの開催については、変更となる場合があります。



平戸市の自然や文化、歴史的遺産の魅力を紹介

平戸学講座 vol.13

椎の木の正月飾り

お正月には門松を飾るというのが全国的な風習ですが、平戸では松の代わりに椎の木が飾られます。これは平戸ならではの特色ある正月風景であり、古くから伝わる由来が残されています。

その言われは、戦国時代にまで遡ります。松浦家23代松浦弘定が峯昌をはじめとする近隣の勢力に攻め込まれ、蓑壇城に籠城するも立ちこたえることができず、大内氏を頼って筑前に落ち延びました。落ち延びた先は筑前の金胎寺と伝えられています。そこで弘定は新年を迎えることとなりましたが、その土地では松を伐採することが禁じられていたため、やむなく椎の木を代用して正月飾りを作ったと言われています。

その後大内氏の根回しで平戸に帰還することができ、その際、椎の木を用いた正月飾りが「吉

問 文化交流課文化遺産班 ☎22-9143

例」として受け止められ、それから平戸では松ではなく椎を用いて正月飾りを作るようになつたと伝承されています。

全国的には珍しい「椎の門松」は、平戸の人々が先祖の物語を大切に受け継いできた証であります。



▲松浦史料博物館の椎の木の正月飾り